

令和7年第3回下関市議会定例会建設消防委員会での意見・質問

1 発言者数・意見件数

発言者数 4名

意見件数 11件

2 意見・質問に対する局の考え方

No.	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
1 議員A		
1	県工水（原水）の値上げをしてほしくない。	
2	県工水（原水）の契約水量の見直しを検討してほしい。	
3	国の耐震化などの補助率を上げてもらうよう要望してほしい。	
4	今後更なる事務の見直しなど検討し、改定率の抑制をお願いしたい。	
2 議員B		
1	前回改定から長期間が経過しているが、改定時期がこの時期になった理由は。	毎年度、財政見通しを報告する中で、令和5年度に料金改定が必要ということを示してきた。長府浄水場更新事業の投資額や第3次総合計画と併せて中長期ビジョンを策定し、経営努力しながらこの時期まで延ばしてきた。

No.	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
2	過去、物価高騰対策などで減免措置も行っていたので市民も喜んだ。必要な工事についてはしっかりとやっていくという前提で、様々な経営努力などにより、値上げ率が少しでも圧縮できないかの検討をお願いしたい。	
3 議員C		
1	審議会委員の意見（コンパクトシティを目指すような政策との調整）についてはどのように考えているか。	街づくり施策との調整は必要と考えている、中長期ビジョンの見直しなどに併せて検討していきたい。
2	ダウンサイ징や給水エリアの縮小なども検討していくべきではないか。	ダウンサイ징については、長府浄水場更新事業に併せて、高尾浄水場、日和山浄水場を順次廃止する予定。他の施設については、今後、基本計画を策定する過程でダウンサイ징を検討する。給水エリアの縮小については国の動向など情報収集に努める。
3	市民説明会の周知不足や反対意見もある。説明会をもう一度やらないのか。	期間が短かったということもあり、特定の場所・時間に足を運んでもらうことについても難しさを感じた。同じ説明会 자체をもう一度やることは考えていないが、市民説明会資料の動画をホームページにアップしている。その他、市報でも改めて周知し、要望があれば出前講座なども検討したい。
4	値上げで困る人に対する措置はあるのか。	生活用水への配慮に対する料金体系への考え方を継続したいと考えている。関係部局に対しては料金改定の内容を情報提供している。

No.	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
4 議員D		
1	病院などの事業者や年金生活者など、自分の努力で収入を増やすことができない方達についてはどのように考えているのか。	年金などは、これまでも物価などの状況により少しづつ上がってきている。15年ぶりの料金改定であり、何とか吸収できる範囲ではないかと考えている。

※質疑・意見や局の考え方については、内容を要約・補足したものとしています。また、水道料金改定の検討状況に関係しない質問・意見については記載を省略しています。